

—日本の医療と介護を根底的に変えるために—

人生の最終章で考えておくべきこと

協賛：一般社団法人日本認知症改革推進協会

我が国の国民皆保険制度、中でも患者中心医療すら財政面含めて危機に直面する中、当委員会では“5つの政策提言”を掲げ、国民の皆様、医療機関、為政者に働きかける活動を進めております。今回はその中の一つの提言事項について取り上げさせていただきます。

終末期医療、事前指示書、人の尊厳、生きざま死にざま、リビングウィルなど関連したテーマを“ワークショップ”形式で、国民目線で皆様とともに考えるセミナーです。

是非ご理解賜り、ご参加頂けますようお願い申し上げます。

プログラム

13:30 ご挨拶 野口 哲英 (国家ビジョン研究会 医療看護介護分科会幹事)

13:40 基調講演 医師 太田 秀樹 『地域包括ケアシステムからみた人生の最終ステージ』
医療法人アスムス理事長/全国在宅療養支援診療所連絡会事務局長



医学博士 自治医科大学大学院修了後'92年おやま城北クリニックを開業以来、在宅医療に取り組む。様々な市民活動に参加しながらコミュニティづくりを目指す。在宅医療推進の研究活動中

15:00 講話 医師 佐野 潔 『人生の最終ステージを迎える為の政策提言について』
米国財団法人野口医学研究所理事長



米国において23年間家庭医療専門医として老人医療、小児婦人診療などに関わった長年の経験がある。その後の仏国での4年間の在欧日本人診療を経て、帰国後は静岡で家庭医療外来診療・専修医教育、また老人医療・在宅診療に加え屋久島での小児診療にも定期的に関わっている。日本の家庭医療学のリーダー的推進者。現在ミシガン大学臨床助教授、トーマス・ジェファーソン大学客員教授なども務めている。

グループ討論

15:20 グループ討論・発表及び総括

16:30 総括講話 コーディネーター：佐野 潔

17:00 懇親会 (ご希望者 3,000円程度)

(総合司会；分科会副幹事 医事・医療ジャーナリスト 松尾厚二郎)

日時：12月1日(土) 午後1時30分～4時40分
(13:00 受付)

会場：としま南池袋ミーティングルーム302

(東京都豊島区南池袋2-34-5第二藤和ビル302)

参加費：2,000円 (当日会場にて) 東京メトロ有楽町線「東池袋」徒歩4分



お名前	懇親会：参加 ・ 不参加	メールアドレス	
所属先		電話番号	

■お申込み方法 メール： k-matsuo@mx5.mesh.ne.jp FAX:03-5225-1522